

最近の経済・雇用情勢について

産業労働部産業政策課

I 経済情勢

1 日本

月例経済報告〔平成 27 年 1 月 (H27. 1. 23 内閣府)〕

景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。

- ・個人消費は、消費者マインドに弱さがみられるなかで、底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、横ばいとなっている。
- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・企業収益は、全体としてはおおむね横ばいとなっているが、大企業製造業では改善の動きもみられる。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、有効求人倍率の上昇には一服感がみられるものの、改善傾向にある。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、消費者マインドの弱さや海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。

参考：四半期別実質 GDP 成長率 (H27. 2. 16 内閣府)

(単位：%)

	H25 年 10-12 月期	H26 年 1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期	10-12 月期 ※1 次速報値
季節調整済前期比	▲0.4	1.3	▲1.7	▲0.6	0.6
年率換算	▲1.4	5.5	▲6.7	▲2.3	2.2

※3四半期ぶりのプラス成長

2 長野県

長野県の金融経済動向 (H27. 2. 6 日本銀行松本支店)

長野県経済は、緩やかに回復しつつあるものの、生産の一部に弱めの動きがみられる。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準横ばい圏内で推移している一方、住宅投資は前年を下回った。この間、設備投資は緩やかに増加している。また、個人消費は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているものの、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は基調としては緩やかに回復しているものの、一部に弱めの動きがみられる。このほか、雇用・所得は、着実な改善が続いている。

参考：株価・円相場

(単位：円)

	H24. 11 月 ①	H27. 2. 18②	②-①	H24. 11 月以降の 最高値・最安値
日経平均株価 (終値)	9,446.01	18,199.17	8,753.16	18,199.17 (H27. 02. 18)
1 米ドル	80.89	119.17	38.28	121.34 (H26. 12. 08)
1 ユーロ	103.79	135.71	31.92	148.88 (H26. 12. 08)

※円相場：H24.11 月は月中平均、H27.2.18 及び H24.11 月以降の最高値・最安値は午後 5 時現在

II 雇用情勢〔平成26年12月分（H27.1.30 長野労働局・厚生労働省）〕

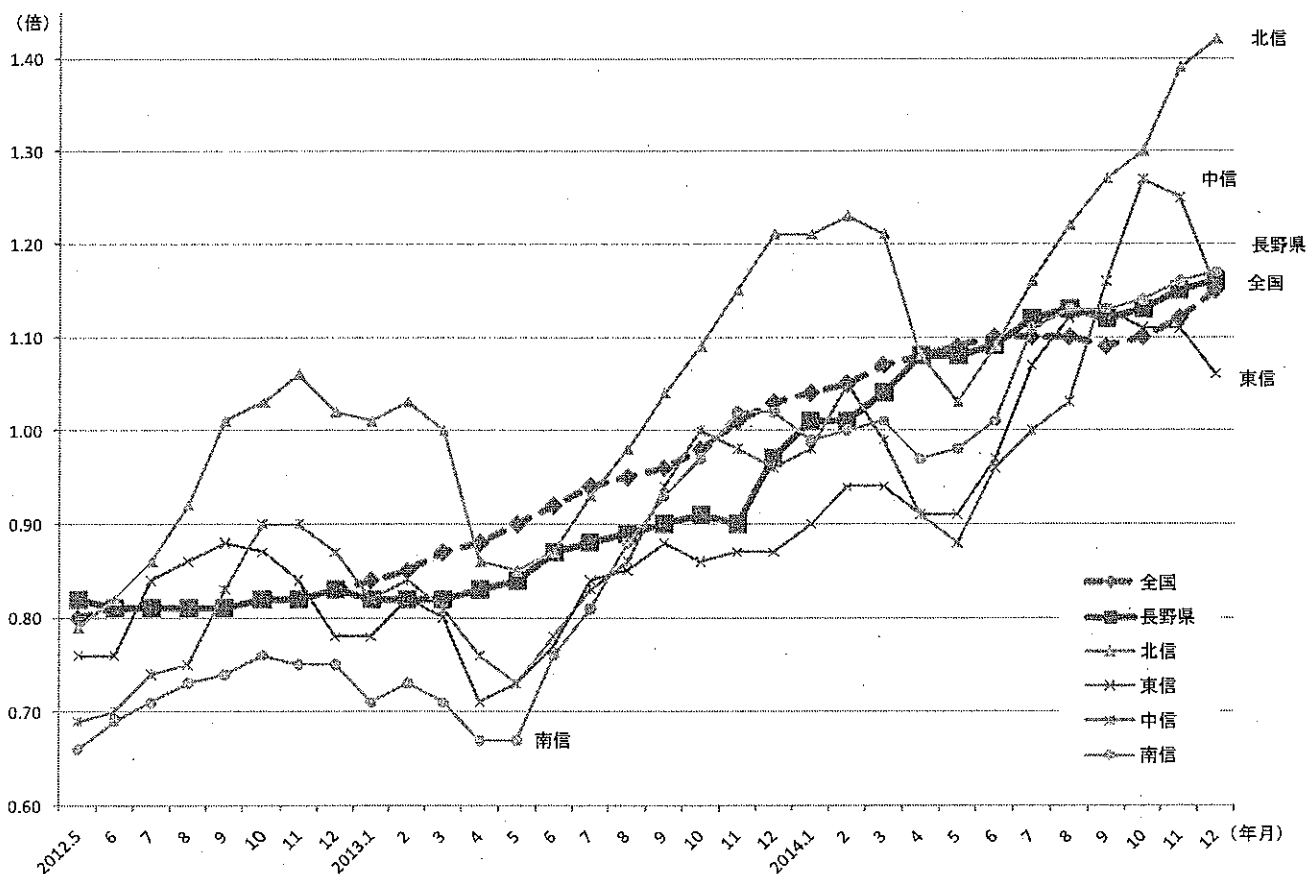
雇用情勢は、一部に厳しさが見られるものの、着実に改善が進んでいる。

有効求人 倍率	長野県 1.16 (前月比+0.01)						全国 1.15 (前月比+0.03)					
地域別	北信 1.53			東信 1.06			中信 1.15			南信 1.17		
職安別	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全数	1.53	1.25	1.60	1.15	1.12	1.00	1.14	0.96	1.35	1.37	1.16	1.05

12月の新規求人数（実数）は14,237人となり、前年同月比で5.7%増加した。

産業別（大分類）にみると、前年同月比で「建設業」、「製造業」、「運輸業・郵便業」、「宿泊業・飲食サービス業」、「生活関連サービス・娯楽業」、「医療・福祉」、「サービス業」などの産業で増加し、「卸売業・小売業」などの産業で減少した。

（参考）有効求人倍率の推移



（注）全国・長野県は季節調整値、地域別は実数値